



(1) 第1部講演の感想

- それぞれの治療のメリット・デメリットがわかった。
- くどくなく、安易な話しぶりが良かった。
- 透析のメリットとデメリットなど具体的にわかりやすかった。
- 用語なども詳しく解説して下さい、丁寧でした。
- とても丁寧な説明でした。私は2度移植を経験していますが、透析から移植に至ったのは25年ほど前でこのような機会は得られず、ネット検索もできなかったので詳しいことはわからないままです。自分の体の状態や治療法がよくわかった上で、治療を受け入れていく事の大切さを改めて感じました。
- PD/APDから生体腎移植を経験しました。自分がたどってきた道がよく理解できました。
- 65歳という年齢と、一般的な知識しかない者でもわかりました。減塩や検診の大切さがよくわかり、腎臓のことを常に頭に置いて暮らします。痛み止めも注意と教えて頂きよかったです。
- 時間が足りなかったのかも知れませんが、食事療法についてももう少し話して欲しかったと思います。リン、カリウム、たんぱく質etcのところ。
- 一般的な広い分野だから理解する時間を(もっとゆっくり)欲しいと思いました。個々の症状について質問の時間ももっと多かつたらよかったですと思った。
- 手元にもスクリーンと同じ資料が欲しかった。説明の速度についていけない、メモがおいわず内容が頭に入りづらかった。
- 専門用語が多すぎた。難しかった。

(2) 第2部講演の感想

- プロジェクターが見やすく、冊子が分かりやすい。
- 移植ネットワークのふりわけなど知れてよかった。
- ローカルな事例の提示があり、現状と危機感が伝わってきました。
- 移植医療の経緯と臓器提供が依然として不足している現状をお話いただき、日本では献腎移植が難しいのだと痛感した。
- 臓器提供者が少しでも増えるために、移植者として何か出来る事はないかと考えさせられました。
- 現状を知ることができてよかったです。
- 具体的な件数などが出ていて、グラフなどが多くわかりやすかった。
- 数字的な(統計的な話)より、opeまでの流れ(ドナー・レシピエント)を聞きたかった。
- もう少し献腎移植が少ない原因を掘り下げてほしかった。
- 時間が少し短かった。

(3) 第3部講演の感想

- ・経験者の方たちの実感のこもったお話にはジーンと心にひびきました。
- ・ネットや書籍では聞けない情報やお気持ちを聞けてとても有意義だった。
- ・男性のお話に感動しました。移植後もどちらかという守りに入っている生活でしたが、もう少し積極的に行動したいと思いました。
- ・男性の話は希望がもてる内容だった。生き方がすばらしい。
- ・女性の方のお話は、共感するところが多く当時の苦しみや恐怖を思い出しました。お話しくださったことに感謝し、彼女が笑顔でお過ごしになれることを祈っています。
- ・男性と女性に立場(対比)の違いがあったから。
- ・経験者の細かい当時の気持ちが伝わってきて、意思表示を通じて提供することの大切さを実感しました。
- ・移植を受ける時の心情や、移植後の生活など知ることが出来てよかった。
- ・透析クリニックのNSです。本日のお話が聞きたくて参加しました。透析を受けていらっしゃる方のお気持ちが胸に響きました。お二人の話聞き「患者さんのこと」ではなく「私はどうしたいか」「私の腎臓を」と考える必要性を知りました。
- ・全く知らなかったことを、お二人とも具体的にはなしてくださり、変え難い経験をさせてもらいました。(変な言い方ですが)違う生活をスピーカーにえらばれたのもよかったと思います。
- ・移植された方の想いと元気を感じて臓器提供の必要性を強く思いました。
- ・透析をしても自分のやりたいことをやっている人が素敵でした。
- ・女性のお話がマイナスイメージが強い。(移植がいい、という感じにならない)移植できない人は透析しかない。「透析は辛い」というイメージはやめてほしい。
- ・専門的な説明で個々についての分かりやすい説明が欲しい。
- ・励ましになります。男性のお話に感動！(私自身ADPKD.しかし私にも何かできることがある、それは移植について周囲に理解を深めてもらうこと。
- ・両氏ともに説得力のある話しぶりに納得です。
- ・女性の経過説明が浸みしました。
- ・経験をわかりやすくこちらに伝わってきました。武吉さんのお話はとてもよかった。

(4) 臓器提供の意思表示についてどのように思ったか

- ・家族や身近でない人の助けになるなら提供したい。
- ・自分が病気になったら、死のことなど考えたくもなくなると思うから。
- ・病気になってからでは、心が不安定であったりするので、冷静に考えることができるときに考えたい。
- ・周りに自分の意思を伝え、カードを持つことが臓器移植を考えることに繋がりが、日本の移植に対する理解が深まると考えています。
- ・必要だとは思いますが自分はしたくない。
- ・困っている人の役に立ちたいと思うし、自分が逆の立場だったら(病気)すごく臓器が欲しいと思うと思うけど、死んでしまったあと臓器がない状態で天国にいったら大丈夫かなと変なことで考えてしまいます。でも！！澤木さん、武吉さんのお話を聞いて考え方が変わりました。
- ・必要とするひとが多くいられる現状を知って家族などに話したい。私自身は癌治療を受けたので他の臓器も役立てないなと思いました。
- ・必要だと思ったけど、いろいろ考えるとやってみたいとは思いますが死んだ後身体を切られることに恐怖がある。
- ・一考を要します。
- ・人間の命の限界はどこまでの臓器移植を指すものか(その指標はあるのか)。頭部をそっくり移植する医療技術が達成されたら「人とは」「人格とは」という有り様への疑問にどう答えられるか。

(5) 身の回りの人と命の大切さについて話をしようと思うか

- ・今の医療の進歩が神の領域を犯している(合理的すぎる)と思うので移植自体は否定的だが目の前の大事な人が困っていたら(移植を必要とするなら)迷うと思う。
- ・個人差があり、やはりその病気になった家族しか分からないことが多々あります。
- ・現状の医療と自分が病気と取り組む姿勢が必要だと思う。
- ・命、健康、支えてくれる家族の大切さを話そうと思う。

(6) 次回企画してほしいテーマや内容

- ・ぜんそく、うつ、ひざの痛み、白内障緑内障、パセド一病
- ・脳の一部にカルシウムがたまるなぜ？手術で取り除いた方が良いのか。日常生活にかわりはないけど、脳外科にかかった方が良いのか教えて下さい。
- ・透析についてももっと詳しく知りたい。
- ・腎臓病の様々な段階での患者の悩みと向き合い方
- ・透析患者とその家族のためのクッキングイベント
- ・食道がんについて
- ・眼科の最新治療の詳しいお話(1年前に網膜剥離になり手術を受けたので)
- ・家族の間で死後についての話はしづらく、どのようにしたらよいかやみます。
- ・法整備等善意の意思以外で臓器移植を推進するための方策について。なぜ提供が進まないのか、一般市民の方の意見をおききたい。
- ・中性脂肪、糖尿病、逆流性胃炎
- ・高血圧に関連した各種病状について。
- ・ガンと向き合う生活。
- ・現在、慢性腎炎の人を対象に行ってほしい。
- ・やっぱり「肝炎」
- ・薬のこと、最近週刊誌に取り上げられている。
- ・胆管がん。
- ・ひざの痛み。
- ・患者の体験談はとてもためになりますし、伝わってきます。

(7) 今回の公開講座についての意見

- ・とても重い内容ではありませんでしたが、命の尊さを感じました。透析ということは知ってはいましたが、実際の透析という大変さを感じ易いではないと感じました。
- ・小冊子の字が大きくて読みやすかった。
- ・パンフレットの中にもたくさん資料があり、初めて移植に触れる人にもわかりやすい。
- ・腎臓病のどの段階にいる方にも、その家族にも、移植に興味関心をお持ちの一般の方々にも訴えられる内容の講義でよかった。来年も期待しています。
- ・初めて来たので会場までが分かりにくかった(正面玄関からの案内が分かりにくい)
- ・ご挨拶のページを減らして口頭の説明部分を(ノートがとれない)資料にして頂きたい。
- ・司会がFMヨコハマでなじみのある藤田優一さんだったので、来てみようと思いました。
- ・透析をしています。考えるところが多くありますが移植に希望をつなげたいと思います。ありがとうございました。
- ・先生方の話も勉強になったし、体験談もありとてもよいプログラムだと思った。知らない世界をいっぱい知り、とても意味のある講座だと思いました！ダンスも上手かった。
- ・10年来通院している医師と充分話し合う必要があり、自分から積極的に質問して改善するしかない。
- ・腎臓病は発症、治療いずれも長期間だということがわかりました。そうであれば今日の講義もそのための時間を多く割いてもらいたい。今日はありがとうございました。
- ・スライドで映した講義内容のポイントはレジメの配布を要望。
- ・臓器の故障の発見、身体の不具合をどのようにして見つけるか？その指導など。
- ・お話を聞けてよかったと思いました。こどもたちの元気なダンスは勇気づけられましたが、正直に申しますと座って講演をお聞きだけかなりの疲労感でした。余興は別の機会をもってほしいと思いました。